

札幌

大通の角の旅館

火災

函

八

親康





大正八年八月十二日

株式会社 大正日日新聞社

大阪市北區梅田驛東(角田町三百三十三番地)

電話東特長
五五五五五
二二二二二
四七七七六五四三
五〇三三三三二
一七七七七七七七七

文部省圖書監修會

大正 丰 月 日

大正日新聞社

No.

梅野代候、賛嘆御大失態ア後、賛嘆有ハ勿論株
主等々、御沙汰送聞合ハセ、世間ノ期待ニ比キ、芦
便リ詮々ア加部ノ候、支那、支那、株主等々ア
内面一めシ、トテ端ノ内モ犯ヘマシト孫本様モ少佐
改名アセ、里丸トナリアレハ後、主事モモシル
異ナリ。

新橋毎ハ此様リ御用シテアリモ大失態ア勿論ノ流
言ヤナシ矣サ、又多處アヒシ而シ氣運挽回ア本
し居ル由本此ノ事ニテ長ノ此情報リ商シ候、
此癡瘍ア體弱ニ大シ、且付ア要スアト加部候、宣

大正 丰月 日

馬鹿、いしキ限ノ傳属

創刊号既に送り一以重複して送り申すト承知要望
二十日迄申す中々御不快御居候事、申中又予貰
已多ナ十部タニ大学へ送り御申す如事多御年候、
古聖王誠ニ種豆相彌代候、何し其申用シ得テ申
上申限迄一寸内額申上候、

但創刊号ハ拾玉事近不御支アシタ候、

先手と以此事年候、致具

高橋政和

No.

田先生 玉當下